

## 塘研究室現地調査報告

5月28日と6月3日に、猪苗代湖周辺の池沼・湿地の底生動物相調査を実施しました。昨年度の調査によって、猪苗代湖周辺の池沼・湿地から114種群の底生動物の生息を確認しましたが、湖南の郡山市湖南町での調査が不十分だったため、今年度は湖南町の池沼・湿地を重点的に調査する予定です。5月28日に池沼1ヶ所とそこから流出する水路、6月3日は池沼2ヶ所、ヨシ湿地1ヶ所、休耕田の掘り下げ（水路）1ヶ所で調査を実施し、12種群を追加確認しました。ゲンゴロウ属の幼虫がかなり多い池沼もあり、その池ではミズスマシ、ゴマフガムシも見られました。ヨシ湿地では半水生種であるトックリゴミムシの仲間が見られました。ゴマフガムシ、トックリゴミムシ、ヤマトトックリゴミムシはいずれも猪苗代湖周辺の池沼・湿地から昨年度は未記録だった種です。昨年度は未記録だったその他の種として、オオタニシ、センブリ科の幼虫も確認しました。湖南町にはオオエゾヨコエビ（在来種）が大量にいる池もありました。猪苗代町翁沢、会津若松市湊町からは昨年度、オオエゾヨコエビが多く生息している場所を確認しましたが、郡山市湖南町からは初めてです。ニッポンコイワトビケラも昨年度の猪苗代町戸ノ口の池に続き、湖南町の池からも成虫を確認しました（幼虫は未確認）。

